

令和8年度兵庫教育大学教員研修プログラム

知っておきたい!港湾の役割—物流、利用、環境、防災 事後アンケートまとめ

開催日:2026年7月30日

参加者:14名(小学校:8名 中学校:2名 高校:1名 特別支援学校:3名)

定員:20名

1. 受講した理由

この講習の受講を選んだ理由としては、講義だけでなく、見学や実習があるという回答が多かった。

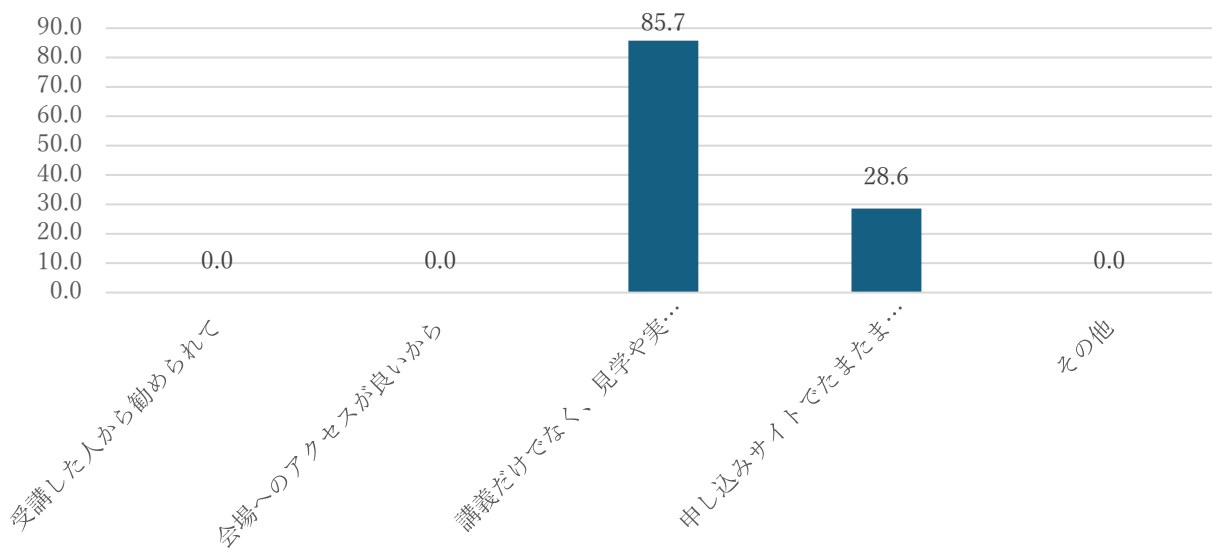


図1 講習の受講を選んだ理由 (N=14)

2. 講義の効果

A) 実体験・見学の充実(クルーズや実習)

- ・ 高い現地体験の価値: 現地で本物を体験する重要性を多くの受講者が実感。
- ・ 充実のクルーズ・実習: 神戸港クルーズや運河での放流・アサリ探しが好評。
- ・ 講義と見学の相乗効果: 「講義+見学」の流れが理解を深めるのに効果的。
- ・ 次世代への教育意欲: 実物見学を通じ、子どもに本物を教える意欲が向上。

B) 講義のわかりやすさと視覚的工夫

- ・ 視覚教材による理解促進: 写真や動画の多用により、具体的なイメージが定着。
- ・ 工夫された丁寧な解説: 全ての講義が分かりやすく、受講者が工夫に感動。

C) 新たな知見の獲得(神戸港の歴史・土木・防災)

- ・ 多角的な港湾の学び: 神戸の歴史、都市計画、成り立ちを深く理解。
- ・ 土木と防災の仕組み解明: 防波堤の役割など、普段意識しない土木技術を網羅。
- ・ 最新の気候変動対策: 海面上昇や防潮堤計画への気候変動の影響を学習。
- ・ 専門チームへの理解と信頼: 見えない場所で対策を講じる土木チームの重要性を認識。

E)「土木」に対するイメージの変化

- 自由記述から、研修の成果として、受講前後の「土木」に対する認識の転換が見えた。

表 1 「土木」のイメージの変化	
受講前のイメージ	受講後のイメージ（認識の転換）
土木と建築はほぼ同じであり、違いがよく分かっていなかった	土木と建築の明確な違いや区別（分け方）が正しく理解できた
体力のいる仕事、肉体労働、大変な仕事という認識だった	自然を相手に安心安全を守り、暮らしを支えるとても誇らしい仕事だと知った
自分にはあまりなじみのない業界だと思っていた	私たちの生活する環境のベース（基盤）がすべて土木によって成り立っているという新しい発見があった
具体的な仕事内容のイメージが薄かった	都市開発への貢献や、土木の多目的な側面を知ることで世界が広がった
身近（父親の職業など）ではあって、詳しく中身を知らなかった	「湾の健康診断の治療の一つが土木」という例えや、凄まじい努力を知って面白いと感じ、次の目標（橋など）ができた

3. 今後受けてみたい講習内容

「普段行けない特別な場所」で、生活・歴史・防災・キャリア教育を結びつけた希望が多かった。

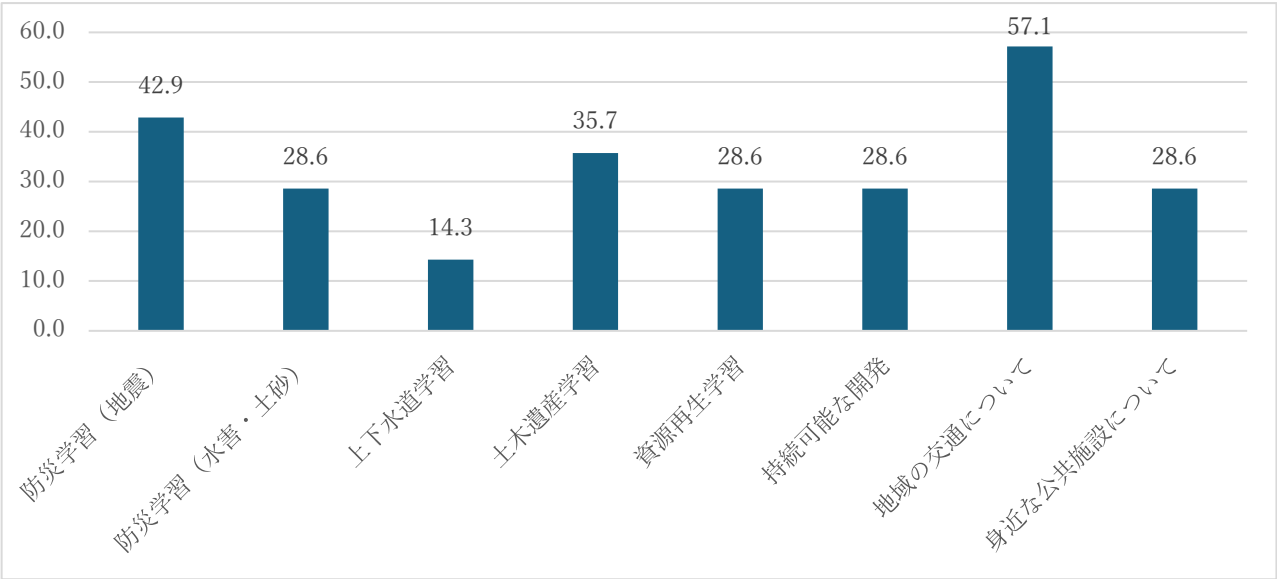


図 2 受けてみたい講習内容 (N=14)

アンケートの詳細

受講内容で評価できること(理解できたことなど)

現地へ足を運んだり、体験できたりするのは非常に大きい

どのお話しも本当にわかりやすく、色々な工夫がされていることなど、感動しました。

神戸港クルーズや運河の学習は非常にためになった。

自分にとって全く知らない分野の内容だったので、知ることができてよかった。

身近な神戸の港の成り立ちを知れました。防波堤の位置や長さなど、気にもとめたことなかったですが、知ったことで、もっと自分の周りも見てみたくなりました。実物を見れた(見学)ことで、子ども達にもっと本物を教えてあげられると思った。

「港湾」というものを様々な視点から見られて、大変勉強になりました。

神戸での都市作りの計画、湾の歴史など、実体験もできたことが満足。

講義も実習もとても楽しかったです。

写真や映像などを見せて下さり、イメージがつきやすかったです。

講義+見学の流れは良かった。

講義だけでなく、実際に神戸港でクルーズしたり、兵庫運河で魚の放流やアサリを探したり、本当に充実した研修でした。

写真や動画をたくさん取り入れていただいたので分かりやすかった。土木から考える防災について防波堤等の仕組みについても理解できた。

海面が上昇することでどうなるかよく分かった。私たちが知らないところで、土木のチームが対策を立ててくれていることが分かった。

防潮堤の計画に気候変動も加味されるなど、新しい知見をえられた。

内容で改善すべきこと(わかりにくかったことなど)

座学の時間が長過ぎる。2 コマ 2 時間が限界だと思う。

液状化が難しかったです。後ろの実験のやつ(液ジョッカー)やってみて・・・こういうことか!となりました。特にありません。

船の後ろの方、先生の解説が聞きづらく、残念でした。聞きたかったです。

物流で輸出の話も聞きたかった。輸入ばかり頼っているのが心配です。

とても良かったです。

今後受けてみたい講義内容や見学したい場所があれば具体的に教えてください。

普段行かない(行けない)場であり、生活と結びついているもので研修したい

会場近くにあった麻薬探知犬の管理施設。

次は明石海峡大橋も学んでみたいです。

小学校教育の内容にある講習に興味がありました。特に土木の視点からの防災の話が気になりました。

今に至る先人の知恵・歴史・遺構を知りたい。

キャリアなどの教育課題に合うものがあればうれしいです。(土木の仕事、働く人々の工夫)

トンネル、ダム

神戸の歴史を知りたいです。

津波後の都市計画

関空の講習

「土木」についてどう思っていましたか？また、この講習を受講して変わりましたか？

大きくイメージが変わりました。

色々目を向けてみようと思いました。本当に楽しかったです。ありがとうございました。

土木の多目的な側面を知ること、世界が広がった。

自分の中で土木と建築は以前までは、ほぼ同じだと考えていました。区別(分け方)がわかってよかったです。

父親が海洋土木出身で、土木の人だったので、身近なものでした。しかし、詳しく話を聞くことがなかったので、今になって勉強することができて、土木の人がしている仕事を知れて、おもしろかったです。数年前は関空を受けました。次の目標は”橋”です。

体力のいる仕事だという認識でした。しかし、自然を相手に安心安全を守り、暮らしを支えるとても誇らしい仕事だということを知りました。

湾の健康診断の治療の一つが土木。なるほど!!

知らないことを知れてよかったです。大変充実していました。ありがとうございました。

大変な仕事だとは思いますが、建築とは異なるものだと感じました。

肉体労働、土木と建築の違いが分かった。

すごい努力をしているなと感じました。

土木というとあまりなじみのない業界のことだと思っていたけれど、私たちの生活する環境のベースがすべて土木によって成り立っているのは新しい発見になった。

土木のイメージと違い、都市開発などに携わることを知りました。

イメージは変わりました。